製品安全データシート

HPLC-Chip - MS Phosphochip Reagents

1。 化学物質等及び会社情報

製品名	:	HPLC-Chip - MS Phosphochip Reagents	
製品番号 (化学キット)	:	400600	
製品番号	:	Phosphochip Elution Buffer Phosphochip Regeneration Solution Phosphochip Conditioning Mix	400600-51 400600-52 400600-53
供給者/ 製造者	:	会社名 Agilent Technologies, Inc. 住所2850 Centerville Road Wilmington Delaware 19808, USA	
緊急連絡用電話番号(受付時間)	:	Chemtrec: +(81)-345209637	

化学製品の推奨される用途

分析試薬。

Phosphochip Elution Buffer	10 ml
Phosphochip Regeneration Solution	1 ml
Phosphochip Conditioning Mix	0.007 mg

2。 危険有害性の要約

GHS分類	:	Phosphochip Elution Buffer	分類されていない。
		Phosphochip Regeneration Solution	皮膚腐食性/刺激性 - 区分 1A 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 - 区分 1 生殖毒性 [受精能] - 区分 2 生殖毒性 [胎児] - 区分 2 特定標的臓器毒性(単回暴露) [血液系、腎臓、肝臓 および 気道] - 区分 1 特定標的臓器毒性(反復暴露) [腎臓] - 区分 1
		Phosphochip Conditioning Mix	分類されていない。
		Phosphochip Elution Buffer	該当せず。
		Phosphochip Regeneration Solution	該当せず。
		Phosphochip Conditioning Mix	未知の毒性成分から成る混合物のパーセンテージ: 100%
		Phosphochip Elution Buffer	該当せず。
		Phosphochip Regeneration Solution	該当せず。
		Phosphochip Conditioning Mix	水生環境に対する未知の危険有害性成分から成る混合物のパーセンテージ: 100%

GHSラベル要素

危険有害性の絵文字 :

注意喚起語	:	Phosphochip Elution Buffer	注意喚起語なし。
		Phosphochip Regeneration Solution	危険
		Phosphochip Conditioning Mix	注意喚起語なし。
危険有害性情報	:	Phosphochip Elution Buffer	重大な作用や危険有害性は知られていない。
		Phosphochip Regeneration Solution	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い。 臓器の障害。(血液系、腎臓、肝臓、気道) 長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害。(腎臓)
		Phosphochip Conditioning Mix	重大な作用や危険有害性は知られていない。

注意書き

安全対策	:	Phosphochip Elution Buffer	該当せず。
		Phosphochip Regeneration Solution	使用前に取扱説明書を入手すること。 保護手袋を着用すること。 保護眼鏡または保護面を着用すること。 保護手袋/衣類を着用すること。 蒸気を吸入しないこと。
		Phosphochip Conditioning Mix	該当せず。

2。 危険有害性の要約

応急措置	:	Phosphochip Elution Buffer	該当せず。
		Phosphochip Regeneration Solution	吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 ただちに医師に連絡すること。 飲み込んだ場合： ただちに医師に連絡すること。 無理に吐かせないこと。 皮膚（または髪）に付着した場合： 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。 皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。 ただちに医師に連絡すること。 眼に入った場合： ただちに医師に連絡すること。
		Phosphochip Conditioning Mix	該当せず。
保管	:	Phosphochip Elution Buffer	該当せず。
		Phosphochip Regeneration Solution	施錠して保管すること。
		Phosphochip Conditioning Mix	該当せず。
廃棄	:	Phosphochip Elution Buffer	該当せず。
		Phosphochip Regeneration Solution	該当せず。
		Phosphochip Conditioning Mix	該当せず。
分類されていない他の危険有害性	:	Phosphochip Elution Buffer	データなし。
		Phosphochip Regeneration Solution	データなし。
		Phosphochip Conditioning Mix	データなし。

3。 組成及び成分情報

単一物質/混合物	:	Phosphochip Elution Buffer	混合物
		Phosphochip Regeneration Solution	混合物
		Phosphochip Conditioning Mix	混合物

成分名	%	CAS 番号	官報公示整理番号（化審法）	労働安全衛生法
Phosphochip Elution Buffer				
炭酸アンモニウム	1-3	1066-33-7	(1)-140X; (1)-141	データなし。
Phosphochip Regeneration Solution				
ギ酸	10-90	64-18-6	(2)-670	(2)-670, (9)-132

本製品の補足的な成分の中には、現在の知識の範囲および該当する濃度において、このセクションで報告が義務づけられている健康または環境に対して有害危険性であると分類される成分は含まれていません。

暴露限界がある場合、セクション8に記載されている。

4。 応急措置

必要な応急処置の説明

目に入った場合	:	Phosphochip Elution Buffer	すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。 コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。 炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。
		Phosphochip Regeneration Solution	直ちに医師の診断を受ける。 医師に連絡する。 すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。 コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。 少なくとも10分間洗い流し続ける。 化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。
		Phosphochip Conditioning Mix	すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。 コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。 炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。
吸入した場合	:	Phosphochip Elution Buffer	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。 火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。 暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。
		Phosphochip Regeneration Solution	直ちに医師の診断を受ける。 医師に連絡する。 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。 呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。 救助者が口移し人工呼吸で

4。 応急措置

			蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。 意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。 気道を開いた状態に維持する。 襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。
		Phosphochip Conditioning Mix	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	:	Phosphochip Elution Buffer	多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。 汚染された衣服および靴を脱がせる。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。
		Phosphochip Regeneration Solution	直ちに医師の診断を受ける。 医師に連絡する。 石鹸と水で、汚染された皮膚を洗浄する。 汚染された衣服および靴を脱がせる。 汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。 少なくとも10分間洗い流し続ける。 化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。 衣類は、再着用の前に洗濯する。 靴は再使用前に十分に洗浄する。
		Phosphochip Conditioning Mix	多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。 汚染された衣服および靴を脱がせる。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	:	Phosphochip Elution Buffer	水で口を洗浄する。 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。
		Phosphochip Regeneration Solution	直ちに医師の診断を受ける。 医師に連絡する。 水で口を洗浄する。 入歯をしている場合ははずす。 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。 嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。 もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。 化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。 意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。 意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。 気道を開いた状態に維持する。 襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。
		Phosphochip Conditioning Mix	水で口を洗浄する。 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。

最も重要な急性および遅発性の症状/影響

起こりうる急性毒性

目に入った場合	:	Phosphochip Elution Buffer	重大な作用や危険有害性は知られていない。
		Phosphochip Regeneration Solution	重篤な眼の損傷。
		Phosphochip Conditioning Mix	重大な作用や危険有害性は知られていない。
吸入した場合	:	Phosphochip Elution Buffer	分解生成物に暴露すると、健康を害することがある。 爆発に続いて重大な影響が遅れて発生することがある。
		Phosphochip Regeneration Solution	呼吸器系に対して非常に刺激性のあるガスや蒸気、粉塵を放出することがある。
		Phosphochip Conditioning Mix	重大な作用や危険有害性は知られていない。
皮膚に付着した場合	:	Phosphochip Elution Buffer	重大な作用や危険有害性は知られていない。
		Phosphochip Regeneration Solution	重度のやけどを引き起こす。
		Phosphochip Conditioning Mix	重大な作用や危険有害性は知られていない。
飲み込んだ場合	:	Phosphochip Elution Buffer	重大な作用や危険有害性は知られていない。
		Phosphochip Regeneration Solution	口、喉および胃に火傷を起こすことがある。
		Phosphochip Conditioning Mix	重大な作用や危険有害性は知られていない。

過剰暴露の徴候/症状

4。 応急措置

目に入った場合	:	Phosphochip Elution Buffer	特にデータは無い。
		Phosphochip Regeneration Solution	有害症状には以下の症状が含まれる: 痛み 流涙 発赤
		Phosphochip Conditioning Mix	特にデータは無い。
吸入した場合	:	Phosphochip Elution Buffer	特にデータは無い。
		Phosphochip Regeneration Solution	有害症状には以下の症状が含まれる: 胎児体重の減少 子宮内胎児死亡の増加 骨格の外表奇形
		Phosphochip Conditioning Mix	特にデータは無い。
皮膚に付着した場合	:	Phosphochip Elution Buffer	特にデータは無い。
		Phosphochip Regeneration Solution	有害症状には以下の症状が含まれる: 痛み及び刺激 発赤 水ぶくれになることがある 胎児体重の減少 子宮内胎児死亡の増加 骨格の外表奇形
		Phosphochip Conditioning Mix	特にデータは無い。
飲み込んだ場合	:	Phosphochip Elution Buffer	特にデータは無い。
		Phosphochip Regeneration Solution	有害症状には以下の症状が含まれる: 胃痛 胎児体重の減少 子宮内胎児死亡の増加 骨格の外表奇形
		Phosphochip Conditioning Mix	特にデータは無い。

必要に応じた速やかな医師の手当てと必要とされる特別な処置の指示

医師に対する特別注意事項	:	Phosphochip Elution Buffer	火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。 暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。
		Phosphochip Regeneration Solution	症状に対応した対処療法を行うこと。 大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。
		Phosphochip Conditioning Mix	症状に対応した対処療法を行うこと。 大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。
応急措置をする者の保護	:	Phosphochip Elution Buffer	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
		Phosphochip Regeneration Solution	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。 救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。
		Phosphochip Conditioning Mix	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
特定の治療法	:	Phosphochip Elution Buffer	特定の治療法はない。
		Phosphochip Regeneration Solution	特定の治療法はない。
		Phosphochip Conditioning Mix	特定の治療法はない。

有害性情報を参照(セクション11)

5。 火災時の措置

消火剤

適切	:	Phosphochip Elution Buffer	火災に応じた消火剤を使用する。
		Phosphochip Regeneration Solution	火災に応じた消火剤を使用する。
		Phosphochip Conditioning Mix	火災に応じた消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	:	Phosphochip Elution Buffer	認知済みのものは無し。
		Phosphochip Regeneration Solution	認知済みのものは無し。
		Phosphochip Conditioning Mix	認知済みのものは無し。

5。 火災時の措置

特有の危険有害性 :
- Phosphochip Elution Buffer: 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。
- Phosphochip Regeneration Solution: 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。
- Phosphochip Conditioning Mix: 特定の火災爆発の危険有害性はない。

有害な熱分解生成物 :
- Phosphochip Elution Buffer: 分解生成物には以下の物質が含まれることがある:
二酸化炭素
一酸化炭素
窒素酸化物
- Phosphochip Regeneration Solution: 分解生成物には以下の物質が含まれることがある:
二酸化炭素
一酸化炭素
- Phosphochip Conditioning Mix: 特にデータは無い。

消火を行う者に対する注意事項 :
- Phosphochip Elution Buffer: 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
- Phosphochip Regeneration Solution: 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
- Phosphochip Conditioning Mix: 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消火を行う者の保護 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6。 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

緊急時要員以外の人員用 :
- Phosphochip Elution Buffer: 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 周辺地域の人々を避難させる。 関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。 漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。適切な個人保護装置を着用する。
- Phosphochip Regeneration Solution: 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 周辺地域の人々を避難させる。 関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。 漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。蒸気やミストを呼吸しない。 十分な換気を行う。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。 適切な個人保護装置を着用する。
- Phosphochip Conditioning Mix: 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 周辺地域の人々を避難させる。 関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。 漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。適切な個人保護装置を着用する。

緊急時の責任者用 :
- Phosphochip Elution Buffer: 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。
- Phosphochip Regeneration Solution: 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。
- Phosphochip Conditioning Mix: 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

6。 漏出時の措置

環境に対する注意事項	: Phosphochip Elution Buffer	漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。 製品が環境汚染（排水、水路、土壌または大気）を起したときは、関係する行政当局に報告する。
	Phosphochip Regeneration Solution	漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。 製品が環境汚染（排水、水路、土壌または大気）を起したときは、関係する行政当局に報告する。
	Phosphochip Conditioning Mix	漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。 製品が環境汚染（排水、水路、土壌または大気）を起したときは、関係する行政当局に報告する。
封じ込めおよび浄化の方法・機材	: Phosphochip Elution Buffer	危険性がなければ、漏れを止める。 漏出区域から容器を移動する。 水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。 あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。
	Phosphochip Regeneration Solution	危険性がなければ、漏れを止める。 漏出区域から容器を移動する。 こぼれた物質は、炭酸ナトリウム、炭酸水素ナトリウム及び水酸化ナトリウムで中和する。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。
	Phosphochip Conditioning Mix	漏出区域から容器を移動する。 物質を吸い取るか拭き取り、ラベル表示した廃棄容器に収容する。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7。 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項	: Phosphochip Elution Buffer	適切な個人保護具を使用すること（セクション8を参照）。 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。 飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。
	Phosphochip Regeneration Solution	適切な個人保護具を使用すること（セクション8を参照）。 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。 飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。 暴露を避けること－使用前に取扱説明書を入手すること。 妊娠中は暴露を避ける。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 眼、皮膚および衣類に触れないようにする。 蒸気やミストを呼吸しない。 摂取してはならない。 当物質の通常の取り扱い中に呼吸器官への有害危険性が存在する場合は、必ず適切な換気装置を使用するか、あるいは適切な呼吸用保護具を着用する。 使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。 アルカリ類に近づけないこと。 容器が空でも製品の残留物が残存していて有害危険性がある。 容器を再利用してはならない。
	Phosphochip Conditioning Mix	適切な個人保護具を使用すること（セクション8を参照）。 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。 飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。
安全に保管するための注意事項	: Phosphochip Elution Buffer	現地の法規制に従って保管する。 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質（セクション10を参照）および飲食物から離して保管する。 使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。 いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。 ラベルのない容器に保管してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。
	Phosphochip Regeneration Solution	現地の法規制に従って保管する。 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質（セクション10を参照）および飲食物から離して保管する。 施錠して保管すること。 アルカリ類に近づけない。 使用直前まで、容器は固く閉め封印

7。 取扱い及び保管上の注意

	して保管する。 いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。 ラベルのない容器に保管してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。
Phosphochip Conditioning Mix	現地の法規制に従って保管する。 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。 使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。 いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。 ラベルのない容器に保管してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。

8。 暴露防止及び保護措置

許容濃度

曝露限界

成分名	暴露限界値
Phosphochip Regeneration Solution ギ酸	**JP JSOH I-1 OEL (日本、5/2009)。** OEL-M: 9.4 mg/m³ 8 時間。 OEL-M: 5 ppm 8 時間。

推奨される測定方法 : 当製品が暴露限界を有する物質を含む場合、個人、作業場の空気、あるいは生物学的なモニタリングを行い、換気等の管理手段の有効性、および呼吸器保護具を使用する必要性、あるいはそのいずれかを明らかにする必要がある。

適切な技術的管理 : 特別な換気設備は必要ない。 全体換気装置は作業者が暴露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。 もしこの製品が暴露限界を有する成分を含有する場合は、工程の密閉、工程ごとの排気設備、あるいはその他の工程管理対策を用いて作業者の空気中の汚染物質への暴露を、推奨あるいは規制された限界以下に保つこと。

環境暴露管理 : 換気装置および作業工程装置からの排出物を検査し、環境保護の法律規制の要件に適合していることを確認しなければならない。 場合によっては排出物を許容レベル以下に下げるために煙霧清浄機やフィルター、あるいは行程装置の技術的改良が必要になることもある。

個人の保護措置

衛生対策 : 化学製品の取り扱い後は、食事、喫煙およびトイレの使用前および作業時間の最後に、必ず手、前腕および顔を洗う。 汚染された可能性のある衣類を取り除く際には、適切な技術を用いる。 汚染された衣類は、再着用の前に洗濯する。 作業場所の近くに洗眼スタンドと安全シャワーが設置されていることを確認する。

呼吸器の保護具 : リスク評価により必要性が示されたときは、承認された基準に合格した、身体に良く合った空気清浄機能付きまたは給気式の呼吸保護具を使用する。 使用する呼吸保護具は、既知もしくは予測される暴露量、製品の危険有害性、選択される呼吸保護具の安全作動限度に基づいて選択しなければならない。

手の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。

目の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。

皮膚の保護 : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。

9。 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態 :	Phosphochip Elution Buffer	液体。
	Phosphochip Regeneration Solution	液体。
	Phosphochip Conditioning Mix	固体。
色 :	Phosphochip Elution Buffer	データなし。
	Phosphochip Regeneration Solution	データなし。
	Phosphochip Conditioning Mix	データなし。
臭い :	Phosphochip Elution Buffer	データなし。
	Phosphochip Regeneration Solution	データなし。
	Phosphochip Conditioning Mix	データなし。
臭気閾値 :	Phosphochip Elution Buffer	データなし。
	Phosphochip Regeneration Solution	データなし。
	Phosphochip Conditioning Mix	データなし。

9。 物理的及び化学的性質

pH	:	Phosphochip Elution Buffer	9
		Phosphochip Regeneration Solution	2
		Phosphochip Conditioning Mix	データなし。
融点	:	Phosphochip Elution Buffer	0℃ (32℉)
		Phosphochip Regeneration Solution	データなし。
		Phosphochip Conditioning Mix	データなし。
沸点	:	Phosphochip Elution Buffer	100℃ (212℉)
		Phosphochip Regeneration Solution	データなし。
		Phosphochip Conditioning Mix	データなし。
引火点	:	Phosphochip Elution Buffer	データなし。
		Phosphochip Regeneration Solution	データなし。
		Phosphochip Conditioning Mix	データなし。
蒸発速度	:	Phosphochip Elution Buffer	データなし。
		Phosphochip Regeneration Solution	データなし。
		Phosphochip Conditioning Mix	データなし。
引火性(固体、気体)	:	Phosphochip Elution Buffer	データなし。
		Phosphochip Regeneration Solution	データなし。
		Phosphochip Conditioning Mix	データなし。
爆発(燃焼)限界の上限および下限	:	Phosphochip Elution Buffer	データなし。
		Phosphochip Regeneration Solution	データなし。
		Phosphochip Conditioning Mix	データなし。
蒸気圧	:	Phosphochip Elution Buffer	データなし。
		Phosphochip Regeneration Solution	データなし。
		Phosphochip Conditioning Mix	データなし。
蒸気密度	:	Phosphochip Elution Buffer	データなし。
		Phosphochip Regeneration Solution	データなし。
		Phosphochip Conditioning Mix	データなし。
比重	:	Phosphochip Elution Buffer	データなし。
		Phosphochip Regeneration Solution	データなし。
		Phosphochip Conditioning Mix	データなし。
溶解度	:	Phosphochip Elution Buffer	以下の物質に容易に溶解する: 冷水 および 温水。
		Phosphochip Regeneration Solution	以下の物質に容易に溶解する: 冷水 および 温水。
		Phosphochip Conditioning Mix	以下の物質に容易に溶解する: 冷水 および 温水。
オクタノール/水分配係数	:	Phosphochip Elution Buffer	データなし。
		Phosphochip Regeneration Solution	データなし。
		Phosphochip Conditioning Mix	データなし。
分解温度	:	Phosphochip Elution Buffer	データなし。
		Phosphochip Regeneration Solution	データなし。
		Phosphochip Conditioning Mix	データなし。
自然発火温度	:	Phosphochip Elution Buffer	データなし。
		Phosphochip Regeneration Solution	データなし。
		Phosphochip Conditioning Mix	データなし。
粘度	:	Phosphochip Elution Buffer	データなし。
		Phosphochip Regeneration Solution	データなし。
		Phosphochip Conditioning Mix	データなし。

10。安定性及び反応性

反応性	:	Phosphochip Elution Buffer	この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
		Phosphochip Regeneration Solution	この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
		Phosphochip Conditioning Mix	この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
化学的安定性	:	Phosphochip Elution Buffer	製品は安定である。
		Phosphochip Regeneration Solution	製品は安定である。
		Phosphochip Conditioning Mix	製品は安定である。
危険な反応の可能性	:	Phosphochip Elution Buffer	通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。
		Phosphochip Regeneration Solution	通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。
		Phosphochip Conditioning Mix	通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

10。安定性及び反応性

避けるべき条件 : Phosphochip Elution Buffer 特にデータは無い。
Phosphochip Regeneration Solution 特にデータは無い。
Phosphochip Conditioning Mix 特にデータは無い。

混触危険物質 : Phosphochip Elution Buffer 特にデータは無い。
Phosphochip Regeneration Solution 空気と混合して爆発性混合物を生成する可能性のある、極度に引火性の水素ガスを生成しながら、他種類の金属を腐食させる。
次の物質と反応性あるいは危険配合性:
アルカリ
Phosphochip Conditioning Mix 特にデータは無い。

危険有害な分解生成物 : Phosphochip Elution Buffer 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。
Phosphochip Regeneration Solution 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。
Phosphochip Conditioning Mix 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11。有害性情報

毒物学的作用に関する情報

急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	投与量	暴露時間
Phosphochip Elution Buffer 炭酸アンモニウム	LD50 経口	ラット	1576 mg/kg	-
Phosphochip Regeneration Solution ギ酸	LC50 吸入した場合 蒸気 LD50 経口	ラット ラット	7400 mg/m3 730 mg/kg	4 時間 -

刺激性/腐食性

製品 / 成分の名称	結果	種類	スコア	暴露時間	観察
Phosphochip Regeneration Solution ギ酸	眼 - 強刺激剤	ウサギ	-	-	-

感作性

データなし。

慢性毒性 / 発がん性 / 変異原性 / 催奇形性 / 生殖毒性

データなし。

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)

名称	標的器官
Phosphochip Regeneration Solution ギ酸	血液系、腎臓、肝臓 および 気道

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)

名称	標的器官
Phosphochip Regeneration Solution ギ酸	腎臓

呼吸に対する危険有害性

データなし。

可能性のある暴露経路についての情報 : データなし。

起こりうる急性毒性

目に入った場合 : Phosphochip Elution Buffer 重大な作用や危険有害性は知られていない。
Phosphochip Regeneration Solution 重篤な眼の損傷。
Phosphochip Conditioning Mix 重大な作用や危険有害性は知られていない。

11。有害性情報

吸入した場合	:	Phosphochip Elution Buffer	分解生成物に暴露すると、健康を害することがある。爆発に続いて重大な影響が遅れて発生することがある。
		Phosphochip Regeneration Solution	呼吸器系に対して非常に刺激性のあるガスや蒸気、粉塵を放出することがある。
		Phosphochip Conditioning Mix	重大な作用や危険有害性は知られていない。
皮膚に付着した場合	:	Phosphochip Elution Buffer	重大な作用や危険有害性は知られていない。
		Phosphochip Regeneration Solution	重度のやけどを引き起こす。
		Phosphochip Conditioning Mix	重大な作用や危険有害性は知られていない。
飲み込んだ場合	:	Phosphochip Elution Buffer	重大な作用や危険有害性は知られていない。
		Phosphochip Regeneration Solution	口、喉および胃に火傷を起こすことがある。
		Phosphochip Conditioning Mix	重大な作用や危険有害性は知られていない。

物理的・化学的および毒物学的な特性に関連する症状

目に入った場合	:	Phosphochip Elution Buffer	特にデータは無い。
		Phosphochip Regeneration Solution	有害症状には以下の症状が含まれる: 痛み 流涙 発赤
		Phosphochip Conditioning Mix	特にデータは無い。
吸入した場合	:	Phosphochip Elution Buffer	特にデータは無い。
		Phosphochip Regeneration Solution	有害症状には以下の症状が含まれる: 胎児体重の減少 子宮内胎児死亡の増加 骨格の外表奇形
		Phosphochip Conditioning Mix	特にデータは無い。
皮膚に付着した場合	:	Phosphochip Elution Buffer	特にデータは無い。
		Phosphochip Regeneration Solution	有害症状には以下の症状が含まれる: 痛み及び刺激 発赤 水ぶくれになることがある 胎児体重の減少 子宮内胎児死亡の増加 骨格の外表奇形
		Phosphochip Conditioning Mix	特にデータは無い。
飲み込んだ場合	:	Phosphochip Elution Buffer	特にデータは無い。
		Phosphochip Regeneration Solution	有害症状には以下の症状が含まれる: 胃痛 胎児体重の減少 子宮内胎児死亡の増加 骨格の外表奇形
		Phosphochip Conditioning Mix	特にデータは無い。

遅発性および即時性の影響ならびに短期および長期の暴露による慢性的な影響

短期暴露

潜在的な即時性作用 : データなし。

潜在的な遅発性作用 : データなし。

長期暴露

潜在的な即時性作用 : データなし。

潜在的な遅発性作用 : データなし。

健康への慢性効果の可能性

概要	:	Phosphochip Elution Buffer	重大な作用や危険有害性は知られていない。
		Phosphochip Regeneration Solution	長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害。
		Phosphochip Conditioning Mix	重大な作用や危険有害性は知られていない。
発がん性	:	Phosphochip Elution Buffer	重大な作用や危険有害性は知られていない。
		Phosphochip Regeneration Solution	重大な作用や危険有害性は知られていない。
		Phosphochip Conditioning Mix	重大な作用や危険有害性は知られていない。
変異原性	:	Phosphochip Elution Buffer	重大な作用や危険有害性は知られていない。
		Phosphochip Regeneration Solution	重大な作用や危険有害性は知られていない。
		Phosphochip Conditioning Mix	重大な作用や危険有害性は知られていない。
催奇形性	:	Phosphochip Elution Buffer	重大な作用や危険有害性は知られていない。
		Phosphochip Regeneration Solution	胎児に障害を与える疑い。
		Phosphochip Conditioning Mix	重大な作用や危険有害性は知られていない。

11。有害性情報

発育への影響	:	Phosphochip Elution Buffer	重大な作用や危険有害性は知られていない。
		Phosphochip Regeneration Solution	重大な作用や危険有害性は知られていない。
		Phosphochip Conditioning Mix	重大な作用や危険有害性は知られていない。
生殖能力に対する影響	:	Phosphochip Elution Buffer	重大な作用や危険有害性は知られていない。
		Phosphochip Regeneration Solution	生殖能に障害を与える疑い。
		Phosphochip Conditioning Mix	重大な作用や危険有害性は知られていない。

毒性の数値化

急性毒性の推定

急性毒性推定値(ATE値)

経路	結果
Phosphochip Elution Buffer	
経口	79596 mg/kg
Phosphochip Regeneration Solution	
経口	7300 mg/kg
吸入 (蒸気)	110 mg/l

その他の情報	:	Phosphochip Elution Buffer	データなし。
		Phosphochip Regeneration Solution	データなし。
		Phosphochip Conditioning Mix	データなし。

12。環境影響情報

毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	暴露時間
Phosphochip Elution Buffer 炭酸アンモニウム	急性 LC50 17300 から 18700 ug/L 真水	魚類 - Oncorhynchus mykiss - 5.8 cm - 1.8 g	96 時間
Phosphochip Regeneration Solution ギ酸	急性 EC50 151200 から 165600 ug/L 真水	ミジンコ類 - Daphnia magna - 幼虫 - <24 時間	48 時間
	急性 LC50 80000 から 90000 ug/L 海水	甲殻類 - Carcinus maenas - 成体	48 時間

残留性/分解性

データなし。

生物濃縮の可能性

製品 / 成分の名称	$LogP_{ow}$	BCF	可能性
Phosphochip Elution Buffer 炭酸アンモニウム	-2.4	-	低
Phosphochip Regeneration Solution ギ酸	-0.54	-	低

その他の悪影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13。廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。 大量の老廃物質残渣は、下水設備を通して廃棄してはならず、適切な廃水処理施設で処理しなければならない。 余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。 この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。 不要な包装材料は再利用しなければならない。 焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。 この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。 空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14。輸送上の注意

追加情報 : **備考**
特別条項
IB3, T4, TP1
梱包 : 154 、203 、241
旅客および貨物輸送機 : 5 L
貨物専用輸送機 : 60 L

	UN	IMDG	IATA
国連番号	UN3412	UN3412	UN3412
UN正式輸送品目名	FORMIC ACID	FORMIC ACID	Formic acid solution
輸送危険有害性クラス	8	8	8
パッキンググループ	III	III	III
環境有害性	該当せず。	No.	No.
使用者のための特別な予防措置	**使用者の施設内での輸送:** 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。	**使用者の施設内での輸送:** 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。	**使用者の施設内での輸送:** 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。
追加情報	**備考** 特別条項 IB3, T4, TP1 梱包 : 154 、203 、241 旅客および貨物輸送機 : 5 L 貨物専用輸送機 : 60 L	**Emergency schedules (EmS)** F-A, S-B	**Passenger and Cargo Aircraft** Quantity limitation: 5 L Packaging instructions: 852 **Cargo Aircraft Only**Quantity limitation: 60 L Packaging instructions: 856 **Limited Quantities - Passenger Aircraft**Quantity limitation: 1 L Packaging instructions: Y841 **Remarks** Excepted Quantity

15。適用法令

日本の管理法令

火薬類取締法 : データなし。
高圧ガス保安法 : データなし。

消防法 : データなし。　指定数量 : データなし。
消防法 : データなし。　指定数量 : データなし。
要届出物質 : データなし。　指定数量 : データなし。
消防法 - 妨害物質 : 非該当

性質 : データなし。
危険等級 : データなし。

毒物及び劇物取締法

	成分名	状況	%
劇物	該当せず。		
毒物	該当せず。		
特定毒物	該当せず。		

15。適用法令

特定化学物質の用途	:	データなし。
労働安全衛生法	:	データなし。
有機則	:	データなし。
鉛中毒予防規則	:	データなし。
職業病	:	データなし。
海洋汚染および海洋災害防止法	:	データなし。
危険物の海上運送規制に関する通達	:	別表第三（腐食性物質） 別表第四（毒物類）
航空法	:	別表第十一（腐食性物質） 別表第9（毒物） (IATAのその他の情報に関してはセクション14を参照して下さい。)

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

リストに記載された物質はない

道路法	:	データなし。
日本産業衛生学会 発がん性物質	:	データなし。
労働安全衛生法: 第十八 - 四アルキル鉛等業務	:	非該当
労働安全衛生法: 第十八 - 製造の許可	:	非該当
労働安全衛生法: 第十八 - 製造等の禁止	:	非該当
労働安全衛生法 - 名称等を通知すべき危険物及び有害物	:	該当
労働安全衛生法: 第十八 - 危険物	:	非該当
特別管理産業廃棄物リスト	:	非該当

化審法

データなし。

生分解性	:	データなし。
魚に蓄積した化学物質の濃度	:	データなし。
日本インベントリ	:	未確定。
その他の規定	:	データなし。
製品特有の安全、健康および環境に関する法規	:	この製品（その成分を含む）に適用される可能性のある特定の国および/または地域の規則は知られていない。

16。その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付	:	27/06/2013
前作成日	:	27/04/2011.
バージョン	:	3
参照	:	データなし。

前バージョンから変更された情報を指摘する。

16。その他の情報

注意事項

使用者への注意: このデーターシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。